

2013 年度年次大会 会長報告

2014 年 6 月 21 日（土曜日）

於：香港日本人倶楽部

## 会長挨拶

香港日本語教育研究会会長

梁 安玉

皆様

本日は貴重なお時間をお割きくださり、NPO 法人「非営利団体」である香港日本語教育研究会第六回総会にご出席いただきまして、心から御礼を申し上げます。

香港日本語教育研究会は 2007 年に NPO 法人「非営利団体」になり、それ以来、日本語教育・日本研究の教育関係者・研究者の方々との学術・教育交流を進めていると共に、香港における日本語教育の普及と促進に力を注いでまいりました。

2013 年は香港日本語教育研究会にとりまして記念すべき年であります。香港の日本語教育の促進の努力が認められ、日本外務省より「平成 25 年度外務大臣表彰」を受賞いたしました。この受賞は、香港日本語教育研究会にとりまして、光栄の至りに存じます。今回の受賞は当会だけではなく、香港で日本語教育に携わっていらっしゃる皆様への表彰でもあっております。今回の受賞を励みに、今後とも、皆様とともにより一層の努力をいたし、香港における日本語教育の更なる発展と促進に尽力させていただきたく所存でございます。何卒皆様のご支援、ご協力お願い申し上げます。

近年、香港における年少者の学習が増える傾向にあります。2009 年度から、日本語が新しい高校教科の選択科目として取り入れられています。香港日本語教育研究会は高校及び副学士課程の学習者の学習意欲を高めるために、2011 年に日本語成績優秀者への奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞を設立しました。2013 年には三回目の授与式を行いました。

また、高校の日本語教師に最新の教材と教授法の情報を提供するために、国際交流基金アドバイザーでいらっしゃる宇田川洋子先生のご協力で、中学生・高校生に日本語を教える先生方のための「日本語教授法ワークショップ」を 2 回開催しました。

なお、年少者に日本語を普及するために、2013 年に初めて小学生の詩の朗読コンテストを開催いたし、46 名に上るほどの応募者がありました。今後小学生レベルの日本語教育の発展が期待されています。

そして、海外との交流においては、香港日本語教育研究会は、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、オーストラリア、欧州、カナダの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。これによりまして、世界各地域との学術及び教育の交流、世界的な視野を持つ香港の日本語教育の更なる普及と振興に貢献できましたら幸いです。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、今一度、在香港日本国総領事館、国際交流基金、そして会員の皆様方の暖かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。そして、2013 年の研究会の業務が順調に運ばれましたことにつきましては、理事、各委員会の委員と事務所の職員のご尽力のおかげで、心より感謝いたしております。

今後とも、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2013年度の本会の活動報告をまとめました。

## 2013年度 活動報告(2013年1月1日～12月31日)

- 1月12日、「香港の日本語教育過去・現在・未来シリーズ第3弾—グローバル化時代に企業が求める社員像—」というパネルを実施しました。
- 1月26日及び2月25日、中高生・高校生に日本語を教える先生方のための「日本語教授法ワークショップ2012-13シリーズ第2回」を主催しました。講師は宇田川洋子先生（国際交流基金海外派遣日本語教育専門家）です。
- 3月16日及び17日、「日本語の発音における教授法及び教材デザイン」の講演及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金JFにほんごネットワークでした。内容は以下の通りです。

### 講演会

- ① 「音声教育の実際と『1日10分の発音練習』」 松崎 寛先生（筑波大学）
- ② 「『1日10分の発音練習』の効果的な使い方」 河野 俊之先生（横浜国立大学）

### ワークショップ

- ① 「香港人が苦手なアクセントの効果的な教え方」 松崎 寛先生（筑波大学）
- ② 「香港人が苦手な清音・濁音等の効果的な教え方」 河野 俊之先生（横浜国立大学）

- 4月28日、第9回香港小中高生日本語スピーチコンテストを開催しました。
  - ◎ 会場：香港九龍油麻地城景国際酒店5楼鑽石廳
  - ◎ 出場者数：暗誦の部（小学生）13名、暗誦の部（中/高生）16名、スピーチの部8名。
- 6月15日、香港日本語教育研究会の第五回総会が行われました。
  - ◎ NPO法人非営利団体として、研究会の理事が選挙によって選出します。2013年度理事立候補者13名がおり、定数11名を超えたため、総会において、会員投票によって、11名の理事が選出されました。

総会后、下記の講演会を会催した。

講師：北村 隆則先生（香港中文大学日本研究学教授）

テーマ：「日中関係のこれまでと今後の展望」(The past and future prospect of Sino-Japanese relations)

『日本学刊』16号を発行、総会で会員に配布しました。香港と海内の日本語関係機関に郵送で配布しました。

- 6月16日、香港地域の2013年第1回日本語能力試験(N3及びN5級)模擬試験を実施しました。応募者数が1000名でした。
- 7月7日、2013年第1回日本語能力試験(N1～N5級)を実施しました。応募者数が5877名でした。
- 7月13日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞の候補者の面接を行いました。

- 8月3日、高校の日本語成績優秀者の奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞の候補者の面接を行いました。
- 8月10日及び11日、「言語活動の向上を目指す統合的なコースデザイン及び教授法」の講演及びワークショップを開催しました。協賛団体は国際交流基金JFにほんごネットワークでした。内容は以下の通りです。

#### 講演会

- ① 「英国の日本語教育について—中等教育段階を中心に—」 Lydia Morey 先生 (Head of Oriental Languages, Marlborough College)
- ② 「統合的アプローチをめざして—『できる日本語』を活用して—」 嶋田 和子先生 (アクラス日本語教育研究所 代表理事)

#### ワークショップ

- ① 「ロールプレイ、プレゼンテーションやエッセイなどの言語活動の評価と指導」 Lydia Morey 先生 (Head of Oriental Languages, Marlborough College)
  - ② 「学習者の言語能力を伸ばす評価とは」 嶋田 和子先生 (アクラス日本語教育研究所 代表理事)
- 9月21日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞の授賞式を行いました。
  - 11月17日、香港地域の2013年第2回日本語能力試験(N2、N3及びN5級)模擬試験を実施しました。応募者数が551名でした。
  - 12月1日、2013年第2回日本語能力試験(N1～N5級)を実施しました。応募者数が6669名でした。
  - 香港地域において2013年度日本語能力試験を年に2回で実施しました。合計の受験応募者数が1万2546名でした。

#### 【理事会】

毎月定例理事会を開き、そこで理事による審議・討論を経て、会の運営等についての決定をしています。2013年度、計12回の会議が行われました。

#### 【月例会】

月例会は従来どおり、毎月第2土曜日(2時～4時)に、香港日本語教育研究会事務所のホールで行っております。講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で行い、2013年度は計6回、参加者は毎回平均30名前後でした。

#### 【日本語教師研修会】

2013年6月第十三期修了。修了生五名。

2013年10月第十四期開始、研修生六名。